



Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
 NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOME NAKAKU,
 NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 ビジョンある奉仕
- ② アジア会長標語 深めよう地域社会に兄弟愛を
- ③ 日本区理事標語 勇気ある変革・愛ある行動! -日本区 6000 への実りを求めて-
- ④ 中部部長標語 今こそワイズ!
- ⑤ 会長標語 感動を心に若い力を!

1995年 5月号

Inspiration to Spread Our Wings with Youthful Power

〈 今月の聖句 〉

どうか、聖なる者たちにふさわしく、また、主に結ばれている者らしく彼女を迎え入れ、あなたがたの助けを必要とするなら、どんなことでも助けてあげてください。彼女は多くの人々の援助者、特にわたしの援助者です。

ローマの信徒への手紙 第16章 2章

1995年5月例会のご案内

●第一例会

と き ; 5月8日(月) 19時~21時
 と ころ ; 名古屋 YMCA AVホール(3F)
 名古屋市中区上前津 ☎ 321-1600
 プログラム ; 卓話 “最近の脳神経外科疾患と手術”
 講師 大隅病院脳外科部長 大原茂幹氏
 大原氏は元YMCA少年部のメンバー、リーダーとして活躍された方です。最新、最先端の脳神経医学に関してご専門の立場からビデオ等も用いて判り易くお話をさせていただきます。

●第二例会(ブリテン委員会併催)

と き ; 5月23日(火) 19時~20時30分
 と ころ ; 名古屋 YMCA 407号室(4F)

●ファミリープログラム “バーベキューパーティー”
 と き ; 5月14日(日) 11時開始(流れ解散)
 と ころ ; 三井会長宅(豊田市四郷町山畑76-130)
 TEL 0565-46-2462
 会 費 1人1,000円(未就学児無料)

●韓国仁川IBC締結式

5月19日(金)~21日(日) 詳細P.2参照下さい。

●日本区大会

6月3日(土) 4日(日) (前夜祭 2日(金))

●阪神大震災復興ワークキャンプ

5月11日(木)~16日(火) 西宮YMCA

●グランパス一泊会

7月15日(土) 16日(日) 湯ノ山温泉 希望荘

●名古屋YMCA会員総会

5月18日(木)

グランパストーク

法律と阪神大震災

林 勝博

阪神大震災からはやくも3ヶ月が経過しました。私は残念ながらYMCAの主催するボランティア活動には参加していませんが、司法書士会では地元兵庫県の司法書士を中心に全国から会員が毎週神戸に集まり法律相談を実施しています。この活動の中で感じたことを少し報告したいと思います。相談事例の中では、借地と借家の問題、マンションの立て替えなど建物に関する問題が圧倒的に多いと言えます。

あの地震は、人の人生設計までも一瞬にして壊してしまったと言えます。私が相談を受けた人は、退職を2月に控え、退職金の代わりに社宅を貰う予定でしたが、地震で社宅は全壊。社宅の土地を貰ったとしても、会社は退職するし、建物は自分で建てなければならず、これからどうしたものかと困惑していました。

この他にも、賃貸住宅に住んでいた人達は建物の全壊により契約が終了し、家主が再築してくれないときはどうなるのか? 全壊までいなくても修理が必要なケースではその費用を誰が負担するのか? マンションを取り壊さなければならないが、ローンはどうなるのか? 建て替え資金はどうするか? などマスコミの報道以上に切実な問題が生じています。

これに対し、罹災都市借地借家臨時処理法や借地借家法や区分所有法などいろいろな法律の適用が考えられますが、神戸の現状には十分対応できるかと言えば、不十分と言わざるを得ません。戸建ての建物を想定してマンション等は想定していない時代の法律や、平穏な状態を想定した上での法律は、本当に被災者の役に立つことが出来るのか不明です。

私は、法律の仕事をしている一員として、これからが本当のボランティア活動の真価が問われると思いつつ、今後も救済活動に参加していきたいと考えています。

3月31日現在	例会出席状況				BFポイント		クラブファンド(月)	
	在籍者	24名	第1例会	13名	当月・切手	-	ニコBOXノート	-
例会出席者	17名	第2例会	12名	当月・現金	-	ファンド	-	
当月出席率	71%	部会他	2名	累計	-	合計	-	

4月第一例会報告



卓話「フィリピン ワークキャンプ」

油口 直広

今回は、第17回フィリピン ワークキャンプの様態を講師に船戸団長と20名のキャンパーの中から山崎めぐみさん、江坂尚子さん、山口由実さんの3人に来ていただき話を伺いました。

名古屋YMCAが主催をするワークキャンプは名前からすれば現地で仕事ばかりしているものと思いがちですが、実際には日本とフィリピンの交流を図る為の活動でその中心のキャンパー達(今回は男性6名、女性14名、団長)が現地で1ヵ月間フィリピンの方々と一緒に“生活”することが主な仕事です。

活動場所はネグロス島バラガイ市ウト村で、そこは既に初夏で気温30～35度と夏を待ちきれない方には(私も含めて)羨ましいはなしです。

フィリピンの人は母国語と英語の両方を操るので、コミュニケーションは英語でとられます。彼女たちもキャンパーも、英語で話そうと努力するのですが、なかなかうまく行かずそれが不安や苛立ちになり、つい日本人同士集まりがちになります。そんな元気の無さを表情から読み取って、向こうから気を使ってくれたりして彼女たち曰く、言葉は通じなくても心で会話が出来るそうです。彼女たちが受けた幾つかのショックの中に、現地の人々が当たり前と考えている英語で会話出来ることを、日本人の多くは出来なくても当たり前と考えていることは、同じく話せない私にとっても反省すべき点でした。

又、戦時中の多民族の大量虐殺や、強制移住、強制労働、従軍慰安婦問題など戦後教育の教科書でも触れられていなくて、私たちが普通な

なか知る機会もないし考えることもあまりないことを、彼女たちは現地からフィリピンにおける旧日本軍のやったことについて聞いてきたようです。現地の方は友好的に話してくれたにもかかわらず、やっぱりショックを受けていました。

日本へ帰るとき、現地のスタッフは「エンジョイしたか？」と何度も聞いてくれたそうですが、1ヵ月間一緒に生活して文化交流が目的のこのワークキャンプ。そもそもの始まりのころはY'Sのメンバーも同行していたと聞きます。せっかく名古屋Yが主催をしているので、来年あたりグランパスとしても一緒に行きたいですね！皆さんもそう思いませんか。私はそれまでに英会話をマスターしなければ!!

ゲスト 加藤さん(リトルカーニバル)

韓国サンドルクラブとの IBCに向けての報告

先月17日から来名されたサンドルクラブの交流はクラブの皆さんの協力のおかげで無事に終わりサンドルの方々も大変喜んで帰国されました。御苦労様でした。

さて先方とのIBCの締結の日程について現時点わかっていることを報告します。5月19日(金)～21日(日)の予定で訪韓して20日にインチョン市で開かれる中部部会のプログラムの中での締結調印となります。韓国でのワイズ活動は活発で中部部会は日本区大会と同規模と聞いています。その中での調印式を進めているサンドルクラブの意気込みは大変なものと思っておりますが当グランパスとして名誉なことでもあり、先方の期待に答えるべく現在メンバーは13名、メネット3名、コメット1名の訪問予定数ですが、今後IBCを締結後はクラブ単位だけではなくメンバー単位での交流もあると思いますので、機会の許す限り参加していただける様お願い致します。

訪問予定者—三井会長、メネット、コメット、荒川兄、池野兄、馬場兄、加藤姉、坂口兄、メネット、、坂倉兄、佐藤兄、丹羽姉、服部兄、メネット、吉田(一)兄、吉田(正)兄

第2回中部評議会および研修会

三井 秀和

さる3月21日（春分の日）上前津本館 AVホールにて本年度の中部評議会と研修会が開催されました。菅原中部部長の開会宣言・点鐘後各議事報告と進みました。

議事として1.中部部会決算報告、2.中部会計中間報告、3.次期人数割代議員・監事の選出と各議事が進み代議員として4名、監事2名が選出されました。4.次期役員では部長は永田氏（サウス）次々期部長は森本氏（南山）の就任が決定承認され、5.次期部費の決定、6.次々期中部部長の推挙、7.その他と議事は進み約1時間の評議会は終了致しました。

評議会後、研修会が開催され「日本区6000について」次々期日本区理事の当クラブメンバー吉田一誠氏の講演がありました。講演内容は以下の内容です。

1.日本区は次々期で一応終了(96年度)し、97年度より新しいリジョンに変更。2.昨年より日本区6000の活動を始めるが、現在3,269名を97年には6,000名に増員を目標としてきたが、(4年前は約2,600名)役員の年度ごとの入れ替え等のデメリットがあり計画どおりに増員されていない。数量的か、質的かとの問いの前にワイズの活動の原点を考え直すことが先ではないか。そのことはまず動機づけをすることが第一歩、すなわち阪神大震災に於けるボランティア活動で発揮できた行動力ではないか。意識の統一性を以て明確化した本来の使命を以て、個人とクラブが一体となり考えることより行動を起こすことが大切ではないかとのことです。そのための行動を進めやすくするためサポートを出来る組織作りと意識の統一を進める事がワイズの発展に結びつくのではないかとの講演内容でした。

グランパス出席者

三井会長、池野兄、内垣内兄、坂口兄、吉田(一)兄

第17回フィリピンワークキャンプ 帰国歓迎会

吉田 一誠

今までは帰国時間、スケジュールの関係で全員がそろった所での帰国歓迎会が行えませんでした。今年、今年帰国当日に行うことが可能になり、歓迎会が行われました。

歓迎会には我がグランパス提供の手巻き寿司と赤出しに加え、キャンパーの家族の方々の差し入れが加わり、帰国したキャンパーから思わず声が上がりました。

若いキャンパーの生き生きとした報告はこのキャンプが長く続いている力が感じられ、今年、今年特に宗教、祈りと言ったことに改めて感銘を受けたと言う報告が印象的でした。

二十回を記念して何かイベントをとの計画もある様です。クラブとしても継続的な支援を続けて行きたいものです。

グランパス出席者

三井会長、井川兄、内垣内兄、坂口兄、丹羽姉、服部兄、吉田(一)兄、吉田(正)兄、井川メネット、コメット、服部メネット、木野村

沖縄シーサークラブとの ブラザークラブ準備会について

内垣内 登星

4月17,18日に、我がクラブ池野氏と沖縄シーサークラブ会長代行 伊禮氏、比嘉氏、妹尾氏、秋重氏 etcにより沖縄で会がありました。

両クラブとも前向きな話し会が行われ、これから準備をする事になりました。



タイムショックな気持ち

荒川 恭次

みなさんは「バックトゥザフューチャー」という映画をご存じでしょう。主人公がタイムマシンに乗って過去に未来に大活躍するアメリカのSF映画であった。日本物では「戦国自衛隊」。自衛隊の一個小隊があるときタイムスリップで戦国時代に引き込まれ、そこで大活躍する映画で、彼らが無事現代に戻れたかどうかは記憶にはない。私はSFものが好きだ。特に時間からむものは興味がある。客観的に見てるから面白いのであるが、2月の第二週はまさにタイムスリップに巻き込まれた。あの阪神大震災の真っ只中「長田区」に炊き出し班で行った時である。人けのない薄暗いガード下を抜けて未だ焦げ臭さの残る一面の焦土を前にした時、母によく聞かされた名古屋大空襲の惨状が脳裏にダブった。まさに自分がその場に居合わせ、足元から昇ってくる恐怖を実感した。その後で何かしら使命感が頭をもたげたのも事実である。そして3日後、サンドルクラブの方々に案内されたインチョン・ソウル。車窓からのながめは自分の若い頃の日本であった。活気みなぎるものがどんどん伝わってくる。長田区で体感したものと繋がって、自分の中で今まで眠っていた何かが、呼び覚まされたようであった。大げさな言い方ではあるが、このような体験は一生の内ですら何回もあることではないだろう。自分の中で何かがふっきたある種の分岐点かもしれない。今思い返せばタイムショック（タイムスリップ的にカルチャーショックを受けた）な充実した一週間であった。

ハッピーバースデー

- メンバー 14日 池野 輝昭
- 29日 真田 幸治
- メネット 17日 滝川 晴美
- 18日 内垣内統要子
- コメント 11日 三井紗代子
- 17日 阿部 将也
- 23日 滝川真菜美

94 - 95 出席表

95.4.25

No.	例 会 氏 名	評3	ク3	4	4	4	出席 ポ イ ン ト
		21 議 中 会 部	30 報 告 1	10 第 一 例 会	19 プ リ チ ン	25 第 二 例 会	
1	阿 部 一 雄	/	/	○	/	○	19
2	荒 川 恭 次	/	/	○	/	○	27
3	井 川 幸 吉	/	○	/	/	○	26
4	池 野 輝 昭	○	/	/	/	○	18
5	内垣内 登 壘	○	○	/	/	/	18
6	馬 場 寅 太 郎	/	/	○	/	/	13
7	尾 崎 史 忠	/	/	○	/	/	16
8	加 藤 道 子	/	/	/	/	○	25
9	坂 口 功 祐	○	○	○	/	○	42
10	坂 倉 洋	/	/	○	/	○	31
11	佐 藤 壽 晃	/	/	○	/	○	22
12	真 田 幸 治	/	/	/	/	/	4
13	滝 川 眞 充	/	/	/	/	/	6
14	丹 羽 眞 清	/	○	○	/	○	24
15	服 部 庄 三	/	○	○	/	○	32
16	早 川 隆	/	/	○	/	/	18
17	林 勝 博	/	/	/	/	/	1
18	坂 野 清 治	/	/	/	/	/	9
19	三 井 秀 和	○	○	○	/	○	41
20	宮 木 常 二 郎	/	/	/	/	/	0
21	油 口 直 広	/	/	○	/	/	15
22	吉 田 一 誠	○	○	○	○	/	32
23	吉 田 正	/	○	/	/	/	17
24	木 野 村 映	/	○	/	○	○	40

〈沖縄しいーさあークラブ ブラザー締結〉

4月第二例会にて、池野兄より報告がありました。4月17日・18日、池野兄、内垣内兄が沖縄にて、しいーさあークラブ伊禮兄、妹尾兄、尾比久兄、秋重総主事と懇談・意見交換をし、具体的な交流案も出されたとのことです。両クラブ共に是非締結をしたいとの意志を確認したので、5月第一例会にて検討することになりました。

〈5月各クラブ第一例会のご案内〉

- 名古屋クラブ; 5月9日(火) 於YMCA
卓話-岩瀬総主事(Yでの夢)
- プラザクラブ; 5月11日(木) 於YMCA
卓話-「金」の話
- 南山クラブ; 5月11日(木) 於南山Y
卓話-フィリピンワーク報告
- 東海クラブ; 5月12日(金) 於YMCA
卓話-岩瀬総主事(Yに思う事)
- サウスクラブ; 5月17日(水) 於東海Y
卓話-フィリピンワーク報告